

## すみだタウンミーティング 議事録

<b>テーマ</b>	みんなでつくろう！すみだの未来 第1回「知る力」と「知らせる力」
<b>日時</b>	令和3年7月11日（日）午前10時15分～正午
<b>会場</b>	すみだリバーサイドホール2階イベントホール／オンライン（Zoom）
<b>参加者</b>	31名（会場：15名、オンライン：16名）

### ＜メインディスカッション＞

#### 【1】「知る力」

**司会** 本日一つ目の「知る力」について、まず、事前アンケートから紹介させていただく。アンケートの中で、今、インターネット等でたくさんの情報が出ている中で、紙の媒体から情報を得ているという回答をたくさんいただいた。20代の若い方も実は、区報でいろいろな情報を得ているとのこと。若い方はインターネットから情報を知ることがメインで、区報は見ないというアンケート結果が出てくると思っていたので意外だった。若い方も区報とか紙媒体で情報を得ていることを知った。

「知る力」について、「私はこんな風にして情報を知っています、こういう風にして皆さんも情報を知ったら良いんじゃないですか」というようなご意見をいただきたい。

**区民A** 今年度の一番初めのタウンミーティングなので、知る力と関係あるので一番大事なことを言う。行政サービスをみんなが受けられるように、今ワクチンが進んでいる、区でいうと町会組織がある、今出た話だと多くの方がスマホを持っているとなっているが、こういうものは任意であって、ワクチンを打つ人・打たない人、町会に入る人・入らない人、スマホを持つ人・持たないという考えの人がいる。こういう人たちに、平等に物事を知らせることが大事だと思う。「知る力」「知らせる力」に限らず、行政サービス全てにおいて、一番大事なテーマだと思う。SDGsという言葉もあり、多様性をもったいろんな方に対し、これをお願いします。

**司会** 情報を得る人たちがどんな人なのか、推奨する側と、そうではない人の相反する人にどう伝えるかは、すごく重要なことだと思うので、次の「知らせる力」で深掘したいと思う。今いただいた「知る力」の中でも、インターネットだけに頼らないというお話も出た。今日は、オンラインでの参加者もたくさんいるが、若干今、会場の方のほうが活発にご発言いただいているのも、情報の面で、対面とオンラインとの違いもあるのかもしれない。

「知る力」の中で、インターネットだけでなく紙の媒体も墨田区は力を入れていると思うが、「知る」というところからすると、インターネットと紙で違いはあるか？

**区長** 例えば、区報のここをみて区に連絡したり、相談コーナーがあって、自分が相談したいと思っていたことが、ここに連絡すればいいのかと知り、実際に区報を見て相談件数がど

一んと上がったりした事例もある。必要な方に、必要な情報がいかに届くかがまず大事で、知る力の部分で、知ることが必要な人にいかに手に届くかは、まずは我々が考える必要がある。先ほど貴重な意見が出たが、行政サービスはいろいろあるが、スマホをもっていないことで知る機会を逃してしまったり、ワクチンどうしようかなと思っている人に、どのように情報を伝えるか、町会に入ろうか悩んでいる人には、知ることによって参加ができる、ということをしつめていく。知っていただくために、どのような工夫が必要になっていくか、良い意見をいただけたと思う。いろいろな手法を使い、紙、SNSとかいろんな形でお知らせし、知る人、知りたい人にマッチングできるよう、メニューを増やして、知っていただく努力をすることも必要。

## 【2】「知らせる力」

**司会** 知る側のほうが、どのような情報を取りに行くかも重要だと感じた。自分から情報を取りに行くのが「知る力」であれば、次は、その情報を届けるほうの「知らせる力」についてご意見をいただきたい。

実は墨田区はインターネットも紙も両方に力をいれていて、YouTubeに区長が出ている。YouTubeは若い人にも届きやすい。区長が、YouTube発信で力を入れていることについてお話を伺いたい。

**区長** 知っている方もいるかと思うが、剣道をやっている“継続は力なり”を頭に入れている。YouTubeにしても、他のインターネットの発信にしてもやっぱりいろんな、先ほどなつめさんもお苦労されたと話があったが、やはり継続していくことが大事だと思う。YouTubeも専門家ではないので、非常に手作り感がある。正直行政が作るのも、よく伝えたいという想いを継続していくと、いかに相手にわかりやすく伝えるかを心がけて、区長のわたしが思っていることを説明したり話たりすることで、共有できたり、ご理解いただけることにもつながるので、大事なツールだと思う。タウンミーティングをずっと続けたと言っているが、区のテーマとして情報発信というのは非常に大事な、そして区民とつながる重要なツールだという思いで、今後も取り組んでいきたいと思う。やっぱり改善することは必要。区報、ホームページ等いろんなご意見をいただいて、インターネットYouTubeもしゃべり方を変えたり、アングルを変えたり中身を充実させたりという、不断の改善努力が。わかりやすくつたえらという、区民の顔を思い浮かべてやっていくことが大事だと思う。

**司会** 区長はYouTubeの自分の配信を見て、話し方とか映り方も工夫しているのか？

**区長** 手作り感というのが、広報広聴担当の職員が研究していて、NGもたくさんあるが、うまくつなぎあわせたり、制作担当側の努力もある。しゃべり方も明確にもう少しやさしくしゃべったほうがいいのか、ちゃんと伝えるという想いが言葉にでてくると感じている。

**司会** 区長のコメントはすごく頻繁にアップされているし、そのほかにも街の中にいる職人さんを取りあげていたり、街歩きの動画があったり、すごく公式チャンネルが豊富だなというイメージがある。

さて、みなさんから「知らせる力」、「自分はこんなことを工夫している」とか、「墨田区に対して、こういうところを工夫してほしい」というご意見をいただきたい。

**区民B** 情報は、インターネットと紙ベースと、あとはみずからZoomの会議とかに出で直接の情報を得ている。墨田区は非常に進んでいると思う。広報紙も毎月3回出ていて、タイムリーな情報がきちんと伝わっていると思う。高齢者であったり一人暮らし、障がい者の方だったり、私が知る限り、ワクチンのことでも、インターネットだと高齢者の方だと使えない、耳が聞こえない人は電話ができないなど、どうしてもハンデがあるので、私もできる範囲でお伝えしているが個人だと限界がある。行政、地域、ボランティアで、できる人ができる範囲でやるのが大事だと思う。それからワクチン接種は、墨田区は進んでいて素晴らしいと思う。

**司会** ワクチン接種情報について話があったが、区報がカラフルで見やすくて字も大きくて、とても良いなと思い、担当にきいたところ毎回見やすくなる工夫を重ねているとのことだが、区長も紙面の中でいろいろ発言されている。

**区長** 今一番大事なコロナ対策、ワクチン接種の情報・状況についてこれはみなさんにお知らせを一番しなければならない。時期的なものとして、最大の重要という認識の中で。みんなでもいいものを作ろうというか、しっかりした情報をしっかり伝えようとしている。そこには何があるかということ、区民の人が墨田区に住んでいて、「墨田区はこういう取り組みをしていてよかった。じゃあ、私は来週予約できるんだ」、「病院のベッド数はこういう風に増やしてくれているんだ」、とにかく一番不安に思う皆さんに対して、こんな取り組みをして安心して暮らしていけますということを伝えるという根本において、紙面の力のいれよう、わかりやすく伝えるために、いろんな会議をへて、みんなで細かいところを話し合って10日に1回出している。特集号は個別に全戸配布することを含めて対応している。

**司会** 事前のアンケートでも区報についてはたくさんご意見いただいていて、「区報は毎回楽しみにしています」という方や、「実はいろんなところに置いてあるので、手に取りやすい、人に進めやすい」ということを書いてくれた人もいた。

**区民C** 「知らせる力」と「知る力」に共通のことがあると思うが、いろいろネット番組があるが、YouTubeを中心として、知らせるのに、わずかながら私も自分の名前で載せてもらったりした。そのYouTube自体も言論統制がある。一番得たものは見識ある先生から、コロナの状況はこの程度だよと、YouTubeから知識を得ている。

**司会** 事前アンケートからいただいた意見でも70代でもZoomを使ったりYouTubeを見ているという意見もあったので、20代が紙媒体をよく見るといっていて、なかなか逆転現象が起きているようでおもしろいなと思う事前アンケートからの意見もあった。

**区民D** 先ほど区長から、区報の特別号を発信している、いろいろな思いで作っているというお話があった。しかし、すみずみまでいきわたっていない点があり、大事なところなのでもう一度検証していただきたいと思う。例えばワクチンについても、来てないよという声もある。

**司会** 確かに、どれだけすばらしいものを作って情報を発信しても必要としている人に届かないと発揮できない部分がある。情報を届ける面で力を入れているところは？

**区長** せっかく頑張っても届かないことはあってはいけない。我々としてもよくないことであると思う。区報を大事なワクチン情報やコロナ対策については全戸配布して届ける。普段は駅頭においたり、新聞折り込みにしたり、届くように工夫したりしている。デジタルデバイド対策として課題であるが、我々が送ったと思っても、直接届いてない。Dさんのように、まちで言うと知らない人がいる、そんな状況がどこにでもあるのかなと思う。そういう点はこれからも改善していかなければならない。いろんなご意見を伺いながら私たちは努力を絶えずして、届く工夫を考えていかなければならない。

**司会** コロナのことも大事だが、今だと災害についても、熱海でも大きな災害もあったが、「すみだ」（区報）の最新号は、“避難指示”について一面で大きくわかりやすく取り上げられている。

**区長** 2年前の10月の台風の時に、非常に区民の皆さんにご不安とご心配をおかけした。私にとっても、大変申し訳ない状況にあった。今ここに至って改善、改善とお話しているのは、台風の時の情報発信を頭に入れてもっとしっかりしなければと思っている。少しだけお話をすると、岩淵水門の水位が7.7mで氾濫危険水位。ここ（リバーサイドホール）の避難所は、夜の10時半の時点で雨がやんだが、その前の情報発信がもっとしっかりできたらよかったということが一つ。ちょうど雨が止んだ時点での岩淵水門の水位が5mいってなかったくらい。これはこっちが把握しているだけの話で、区民の皆さんにはお伝えしないと、「本当に大丈夫なのか、避難所に行きたいんだけど」というところがまったく欠落していた、大きなミス、私たちの反省がある。したがって、そこを起点にしながら今、変えていかないといけないが、これから、大変残念な熱海の状況もあるので、私たちは、コロナも重要、これから今梅雨の時期で、いろいろなところで浸水だとか、川の氾濫だとか、起きているという中で、今回は、避難指示についてのご説明だが、さらに共有して区民の命を守るというところをもっと具体的にお知らせをしていくことが、大変大事な時期

でもある。

### 【3】これからの「知る力」「知らせる力」

**司会** 今区長からも、皆さんの声を反映してどうしたらよいかと工夫しながらという話もあったので、これからは、テーマ3つ目の「これからの知る力・知らせる力」について皆さんをお話したいと思う。今までの現状でもたくさんの課題や問題点があったと思うが、それを踏まえたとえで、これから先の未来にどうして行ったらよいか、皆さんのご意見を伺いたい。先ほどゲストのなつめさんが、ご自身の情報発信の話をされたが、自分の知りたい情報を区に対してこんな風にしてほしいなということとは？

**ゲスト** 例えば、今日初めて、こういう場所でお話する立場になって感じたことだが、情報を発信するに当たって、丁寧言葉というか、すごく難しい言葉、例えばSNS、横文字であるし、その中でもYouTube用語があり、そういうのって意外に受け取る側が難しくとらえてしまう。皆さんと直接お話させていただくことで感じたのが、話し言葉、区長さんの話す話し言葉って、とても伝わる、身近に感じる、温かみを感じる。そういう風を感じたので、区長さんのツイッターを拝見させていただいたが、情報としてしっかりしているが、時々、話し言葉というか身近に感じる言葉で、そこにいるようにお話す言葉で発信するという、ちょっとした工夫だけでも、世代問わず幅広く伝わるのかなと思った。

**司会** 確かにそれはすごくある。さっき区長が、剣道をやっていたという話もさらりとされていたが、話の内容だけでなく、言葉遣いを区長が気を付けていたこともあるか？

**区長** やはり区役所というか、歴史というか、それから行政用語、一番最初に言った協治ガバナンスという言葉が、どこまで浸透しているかと、まさに今日のテーマで基本だと思う。区役所が発信する情報が、もっと区民に伝わりやすい、わかりやすい、身近な言葉というのが、今後の改善点、一つのテーマになっていく。行政が堅いイメージなので、その辺を少し、（大きく変えるのは、コンプライアンス、法令遵守の中であるが、）やはり正確な言葉という部分と、わかりやすい身近な言葉をしっかり使い分ける必要がある。対象者がたくさんいるということ、先ほどからご意見いただいたが、高齢者の方もいれば、若い方もいる、そういう人に共通で伝わる言葉を私は頭に入れておかなければならない。それから、Twitter上やFacebook上は、やはり文なので、ここの文も少し、区長がこういう文章で発信しているっていうところを、理解していただけるようなことも気をつけなければいけない。

**区民E** 先ほどから、YouTubeという話がずっと出ているが、趣味の会で二つほど参加しており、だいたい50代～の年代が集まっているが、区報しか見ていない人もいる。区役所に来ること自体が少ない。区役所に鶴のオブジェがあることさえ知らない人がいっぱい

る。「知る力」「知らせる力」は、私は、自分の口で「こういうことがあるんだよ、ああいうことがあるんだよ」とお話をしている。「墨田区はいいね、うちの区はそんなの無いよ」と他区の友達からもいわれる。福祉にしろ、ボランティアにしろ、いろんな面ですみだはテレビにもたくさんでることが多くなって誇りに思っている。

**区民F** 墨田区の良さについて、区報によく掲載されている講座・教室・催しのページがたくさん載っているところが良いと思う。ただし、紙媒体ではイベントのイメージがつかみにくいところが課題だと思う。小中学生のときに学校でもらう配布物は、もらっていない子や見ていない子が多い。特に夏休み前は、大量に配布物があるが、そこで墨田区のイベント情報がたくさん載っており、実際に私もすみだまつりのステージで踊ったり、ファミリーキャンプ、サブリーダー講習会に参加するなど、たくさんの教室に参加してきた。情報があるのに、友達を誘うときに、「そんな情報知らなかった」とか、「そんなことあったの？」と言われ、情報があるのに行き届いていないところが、課題だと思っていた。これを解決するために、配布時に教員が説明したり、毎月一回オンライン講座やオンデマンドでも良いので、区からこんな活動をしています、来月こんな活動を行いますなど、イベントのPRがあれば良いと思う。

Instagramについては、私たちの世代はInstagramを見る人が多い。Twitterはほとんど見ない人が多く、Instagramに焦点を当てるとすると、墨田区のInstagramのアカウントで、ストーリー機能で投稿したものが現在一つあるが、いつでも見られるようにハイライトで残すとか、今月のイベント特集とか、そういうハイライトを作ってInstagramはストーリー機能を見る人が多いので、そこに焦点を当てていくのも良いなと思う。

**区民G** 情報の知る・知らせるがセットになるが、私自身はFacebookグループの墨田区民が3,000人くらい登録しているグループに参加して、日々情報を発信したり受け取ったりしている。区報や区のTwitterも見ているが、このFacebookがすごく良いと思うのが、オンライン版のロコミのような雰囲気になっていて、スカイツリーの色が今日はどうだとか、あそこに新しい飲食店ができたとか、区役所のお知らせでこんなことを出していたとか、話題としてあがっている。役所が伝え手で、住民が受け手という構図ではなく、住民同士が時には伝え手になり受け手になるというところが、Facebookグループはすごく良いなと思う。

役所の情報発信が弱いという意見が出ているが、自分は少し違うなと思っていて、役所の情報発信はすごく多岐にわたる、こういうタウンミーティングもそうだし、楽しい花火やイベントもあるが、例えば税金だったり、福祉だったり、ハード面のまちづくりだったり、そういう幅広い情報があって、情報量が非常に多い。公平・公正の観点から強弱をつけられない、どれもとても重要な情報というのがあるので、税金の情報を少なくして、タウンミーティングの情報をいっぱい出すとか、そういうことが難しいということが課題としてあるのかなと思う。また住民の方も、関心がなければどんなに情報発信を、手法の問題でFacebookやTwitterやろうが、区報をだそうが読まれないから、結構

限界があるなと思う。そういう中で住民同士で情報発信、口コミも今後話題になると思った。先ほどの発表の方も、自分で情報発信しているという話があったが、それがとてもローカルという意味ではあっているなと思っていて、Facebookはオンラインだが、オフラインでも井戸端会議ではないが、情報発信していくとか、住民自身が区の情報発信を担うことが、地域という意味では、とても良い手法なのかなと思う。口コミだったら、Facebookやリアルの対面だとか、手法は様々だが年齢層も問わないので、そういうのがこれから、スタンダードになっていくと面白いなと思った。

**司会** 口コミの重要性は確かにある、一方で行政はなかなか強弱をつけられない情報の出し方しかできない。バランスや情報が多岐にわたりすぎてしまうという意見が面白いなと聞いていたが、区長としての悩みや、こうしていこうというビジョンみたいなものはあるか？

**区長** 悩みというか、知らなかった人は、行政サービスを受けられないという結果につながると思うと、これはその方にとって、とても残念な出来事であるので、いかなる形を持ったとしても、すみずみまで伝わるように不断の努力を続けなければならない。今言っていたように、ツールがたくさんあったり、Eさんのように口で、これはまた下町の良いところで、こういうことが皆さんで共有できるような町会活動だったり、団体の活動だったりというところが、少し充実していく、そして最後にお話しがあったようにFacebookの中での住民同士の意見交換というのも墨田区ならではのそういう情報交換ができていても、とても嬉しいことだと思う。

二番目にお話しただいて参考になるのが、例えば、Instagramを使う方に対して、Instagramでしっかり伝えきるということはあるし、ハイライトを使ってみたらという、提案型の嬉しいご意見であった。最後に、学校で渡す配布物の話があった。そのとおりだと思ったのが、渡す側は、一生懸命夏休み前にこんなに分厚く書類作ったよと、これが夏休みの注意事項だぞ、と言って配る、そこで終わってしまうということがあるのかなと思う。渡して任務終了ではなく、例えば、夏休みこういう重要な点があるよと、これとこれとこれだと先に出しておいて、他も読んでくださいというような、渡す側の工夫も、読んでもらうための工夫というか、これがすみずみに伝わっていくことなのかなと感じたので、口コミの大切さも含めて、キーマンにしっかり届けることも大事なのかなとも思うし、今いただいた三つの意見をしっかりと、提案型もあったので、確認の上前に進んでいきたいと思う。良いお話をいただき、ありがたいと思う。

**区民H** 墨田区の良いところについて、一つは、墨田区の区報は本当によくできている。良く編集されているなと思う。他区の区報を見ることがあるが、本当に文字ばかり並んでいるところとか、編集に気を遣っていないところもあるので、素晴らしいと思う。

もう一つは、すみだトリフォニーホールと新日本フィルのこと。1997年に当時の区長が、墨田区にトリフォニーホールを、クラシック専用ホールとして建てた、また、小澤征爾さん指揮する新日本フィルを墨田区のトリフォニーホールのフランチャイズにした

ことは大英断だと思う。

今トリフォニーで、クラシック、オーケストラをベースにした上原ひろみさんのジャズピアニストとの公演や、12月には布施明さんの公演とかあるが、区民割引で半額くらいになるが、本当に素晴らしい。私も良く利用させてもらっているが、ぜひ続けていただきたい。

**区民 I** 2歳の娘がいるママをしていて、墨田区で妊娠・出産・子育てをするという一連の行動を通して、区報の大事さと、子育て中、特に新生児を育てているときの孤独の中で、墨田区で配っている「いきいき子育てガイドブック」という冊子の大事さを感謝申し上げるとともに、この冊子というのが、区役所や子育ての支援センターにしか置いていないので、今後は、新生児訪問や妊婦訪問の時に、保健師さんを通じて、この冊子が一部あるだけで変わると思うので、妊婦さんや子育て中のママたちができるだけ孤独にならないような、まちづくりをお願いしたいなと思っている。

**区民 J** ワクチンを接種するしない、どこに避難する、そういうことは、基本的には個人の判断になる。なぜかというと、周囲の状況＝墨田区のどこに住んでいる、個人の状況＝基礎疾患がある等、さらには個人の価値観というものがある。この中で、ワクチン接種するしない、避難をどこにするしないは、全員が同じ答えになるわけではない。その中で、不安をあおったり、根拠のない漠然とした全体的な雰囲気醸成するのではなく、民主主義なので個人の判断で、もちろん法律や条例に従うのは原則だが、それを超えた部分は、個人の判断が尊重されるべき。そのためには、不安や根拠のない情勢にならないように、大原則としては、とにかく正確な情報を幅広くすべからく周知していただくことが重要だと思う。

**区民 K** 墨田区の情報、基本的には区報から得ている。これだけSNSをしているということを知らず、可能であればLINE公式アカウントを追加してもらえると、喜ぶ人も多いかと思う。LINEの利用者も人口の8割を超えているという情報もあり、東京都も新型コロナの速報をLINEでやっているかと思うので、個人情報の問題とかいろいろあるが、可能であれば追加いただきたい。また、プッシュ型の通知があると良い、自分がホームページに取りに行くのは、関心のあることしか取りにいかないということがあると思うので、最重要な情報など、可能であればみんなに知らせるためにLINEで配信したり、そういった取組をしてもらえると良いかと思う。

**司会** 4人の方にご発言いただいた中で、皆さん墨田の情報は、すごく良いものを発信しているというご意見がとても多いが、その中でも届いているか届いていないかというところが結構重要なのかなと。事前アンケートでも、メーリングリストやLINEを考えたかどうかというご意見もいただいたが、配布の仕方や届け方が一つの大きな課題だと思う。あとは、個人の判断でどう判断するかも大きな課題だと思う。その辺での区長のご意見は？



**区長** まず、Hさんの区報とトリフォニーホール、新日本フィルの話をいただいて、こうやって良いものは良いと言っていたらと、我々非常に励みになり、さらに頑張っていこうと、次に生かすということがあるので、ありがたい話である。

Iさんの、まさに子育ての一連の状況の中で、経験の話から良いところと、やっぱり同じような思いをしたり、逆にもっと孤独な思いをされている方にもしっかり届けてほしいという、まさに目指している子育て支援の徹底の中にもつながる、それからこういう町で暮らし続けたと思っていただけるヒントをいただけたかと思う。

最後ワクチンの話もあったが、LINEを使ったり、情報発信ツールを少し広げることによって、届くということもあるので、その辺は技術的なこと、LINEの個人情報の関係等も、もう一度よくそれぞれ考えながら、しっかり情報を届けるためのツールとして、利用できるということになれば、ぜひ考えていきたいとも思う。いずれにしても届ける工夫、ここが大事だと思う。最後、ワクチンの話、これは、希望する方に打っていただくと、国も都も私たちも大前提であって、先ほど少しお話をした現在の区の状況というものの数値は出ているので、これはお伝えする、正確な情報はお伝えするという中で、正直まだどうしようかなとか、打ちたくない、打てない病状の方もいらっしゃるのでは、個人個人でご判断をいただき、我々としては安心して打てる体制をしっかり作っていくことに尽きるのかなと思っています。

**区民L** 今日は、主に知らせる力について話題が進んでいると思うが、やはり、大事なのは、知るほうも、知る努力をしていく必要があるかなと思っています。知らせるだけだと、限界があるかなと思っていて、受け取る側が、受け取りに行こうという何らかの工夫がしていく必要があるかと思う。区としても、知る努力をしてほしいということ積極的に発信していくことも大事ではないかと思って今日、話を聞いていた。

**区民M** 今色々な話をいただいて、参考にもなったし勉強にもなった。向島の話も昭和15年には、215軒ほど料亭もあったが今は12軒前後ということで、文化を大事にしていくということは、大事だと思う。私はこれからについて、区長に提言をしたい。今日は外国人について、質問したいと思っている。在住外国人が12,700人前後、6月現在でいると思うが、ここ2年コロナの関係であまり前後していないが、ここ10年、人数はずっと伸びている。私は今、日本語教室をやっている。ワクチン接種について非常に墨田区は進んでいて、外国人の方にも、接種してくださいという案内は来ている。ただ、それが非常に難しい、どうしたらいいのかわからないという相談を全員から受けた。その辺は、例えば具体的に区役所で何月何日の何時頃と最終的に案を示した形のほうが良かったのかなど、相談をするという形は非常に難しいので、どうしても迷ってしまうところがあるので、私らが代行するという形になってしまう。その辺を少し考えていただければ、これからのすみだはやはり、観光客を含めて外国人が多くなると思うので、これからいろいろな形で検討をしていただければと思う。

**区民N** 私が思うのは、やはり「知る力」「知らせる力」の両方が必要だと思う。インターネットなど情報がたくさんありすぎて、どうやって拾い上げれば良いのかよくわからない。人と会うということも、明日から緊急事態宣言が発令されるので、不要不急なので非常に難しい。やらないほうが良いと思っている。そうすると、貴重な情報は、紙ベースである区報だと思っている。質問になるが、区報は全戸配布されているのか。私の場合は、両国駅前の区報を取りにいったりしている。やはり高齢者や障がい者の方は、なかなか取りに行くのも難しいので、ここは行政で一人暮らしのリストを作るなりして、郵送するなり、そうしないと情報孤児になって、ますます今回災害も含めてあらゆる面で大変な状態になる可能性もあるので、最優先でお伝えすることが必要になるかと思う。

**区長** 最初の、知る努力を区民の方がしていただく、受け取りに行くというところも、やはり我々がその発信をしたほうが良いというお話で、まさにその通り。知る努力をしてもらうために、良い情報だったり、こちらが工夫をして、こういう工夫がされているなら努力をしよう、両方つながっているんだと改めて思った。そういう意味で、情報を取ってくださいという情報を私たちはしていかなければならない。

多文化共生、12,700人と言われる今、墨田区にお住まいの外国人の皆さんに対して、先ほど高齢者と障がい者の話もあったが、やはり、それぞれ対象となる方に、いかに私たちがサービスや様々な情報をしっかり届けるのかというのは、非常に重要なテーマであって、そこに差があってはいけないというのは、お答えなのかと思う。いろんな工夫をして、外国人の皆さんにわかりやすく伝えるというのは、今後のテーマである。今までもそういう形でご意見をいただくと対応をしていたというのはあると思うが、そこをさらに深めて今後の時代に備えていくというのは必要だと思う。

最後にお話しのあった、区報については、今は特集号として全戸配布、普段は、新聞折り込みか、駅頭にあるのを取っていただく、そんなやり方をされていて、常々アンケートを取ったり、使い勝手や、利用状況や、中身についても絶えずご意見を頂戴しながら改善していくということをしており、特に障がい者の方には録音版を発行したり、そういう努力もしているが、改めてもう一回全体像を検証しながら、今の時代にあるべき、そういう対象者への行き届く情報発信を心掛けていきたいと思う。

**区長総括** 本当にご協力ありがとうございました。ご自宅やほかのところで、画面においてご参加いただいた皆さんにも厚く御礼を申し上げたいと思う。大変短い時間だったが、ヒントになる提案をいただいたり、いろんなアドバイスや現状をいただけたなということで、やって良かったと思う。ぜひ2回3回4回と続くので、これからもいろいろなご意見、それから区に対する厳しい要望も含めて、よろしくお願いをしたいと思う。今、コロナの時期で申し上げると、やはりいろんなお言葉も頂戴したが、非常に「人つながる墨田区」協治ガバナンスという手法で、区政を進めてきたが、コロナはそこを分断してくるやっか

いなウイルスだなということが一つ。それから、そういう意味で人の心をすごく不安にさせる、先が見えない、未知との闘いを各自治体毎日毎日状況が変わる中で、対応しているということで、非常に区民の皆さまが1年半お過ごしいただいているということをもう少し僕らが頭に入れて、情報発信や、正確な正しいことを皆さんにお伝えするということ、さらに重要だと思う。一方、これを何とか収束させたいうで、この間の今のご意見や、様々な検証をもとにしっかり経済再生や生活の向上や商店街や産業の支援、イベント・観光の復活や、やはり夢を描きながら、料亭文化の発信だとか、大相撲だとか、ここにも視野を入れてそういう前向きな情報発信というものも、これから少しずつ考えていく時期でもある。そういう意味で、元気が出る墨田区モデルの情報発信をしっかりしていくことも必要だと思う。

今日は、もっともっとやりたいくらいの状況だが、限られた時間ということで、今日のところは、こういう形で終えさせていただく。本当に皆さんにご協力いただき、様々な方のご意見を頂戴して、タウンミーティング良かったな、ありがとうございましたということをお願いして、引き続き、知る力、知らせる力、しっかり努力をしていきたいということをお願いして、最後のご挨拶とさせていただきます。

以上